三菱HCキャピタル

News Release

2026 年 11 月 20 日
三菱HCキャピタル株式会社

「カーボンニュートラル社会の実現に向けた移行計画」の環境目標(指標)の 2025 年度実績について

三菱HCキャピタル株式会社(代表取締役　社長執行役員:久井　大樹／以下、当社)は、このたび、「カーボンニュートラル社会の実現に向けた移行計画」*1 (以下、移行計画)に定める環境目標(指標)について、2025 年度実績を取りまとめましたので、お知らせします。

■移行計画に定める環境目標(指標)の 2025 年度実績*2

環境目標(指標)	2025 年度目標	2025 年度実績	2031 年度目標*3
当社グループ連結 Scope1 および Scope2(マーケット基準)温室効果ガス排出量*4	7,904t-CO_2e	**3,180t-CO_2e (2019 年度比△71.8%)**	3,218t-CO_2e
ポートフォリオの新型航空機比率*5	78%	**78.9%**	83%
ポートフォリオのグリーンビルディング比率*6	47%	**62%**	66%
脱炭素関連資産を対象とするリース契約実行高累計*7	230 億円	**381 億円**	1,218 億円
運転開始済みの持分出力*8	約 1.4GW	**1.2GW**	約 2.5GW

温室効果ガス排出量については 2031 年度目標を早期に達成したほか、新型航空機比率、グリーンビルディング比率および脱炭素関連資産を対象とするリース契約実行高累計についても 2025 年度目標を達成しました。

新型航空機比率およびグリーンビルディング比率は、資産の取得・売却に伴い短期的に変動する場合がありますが、中長期的な向上に向けて取り組みを進めています。

また、温室効果ガス排出量については、2031 年度目標の早期達成を踏まえ、2050 年ネットゼロに向けた新たな中間目標の設定を検討しています。

一方で、国内の再生可能エネルギー発電事業の運転開始済みの持分出力は 2025 年度目標を下回りましたが、開発中の案件を含めた全体の持分出力はおおむね計画どおりに推移しています。

当社グループは、今後も脱炭素に関する取り組みを一層強化し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

*1 カーボンニュートラル社会の実現に向けた移行計画 | 三菱HCキャピタル株式会社
*2 2025 年度実績(「カーボンニュートラル社会の実現に向けた移行計画」環境目標(指標))の詳細は、以下をご確認ください。
https://www.mitsubishi-hc-capital.com//news/assets/pdf/2026112011.pdf
*3 2031 年度目標は、2050 年カーボンニュートラルからの逆算や当社の「31 年度のありたい姿」を踏まえ設定したもの
*4 2031 年度目標は 2028 中計策定に伴う見直しを反映した値
*5 現行航空機に比して燃費効率が良く、CO_2 排出量の少ない機体。対象機体:A220 / A320NEO / A321NEO / A330NEO / A350 / B737MAX / B787。目標、実績はともに正味帳簿価額ベースで算定(Jackson Square Aviation 事業を対象)
*6 不動産事業において当社グループが一定程度コントロール可能な資産(リアルティの投資物件)および当社がスポンサーとなり、当社グループであるアセットマネジメント会社が運用する預かり資産(三菱HCキャピタル不動産投資顧問株式会社の私募 REIT およびセンターポイント・ディベロップメントの私募ファンド等)の内、環境認証物件(CASBEE、DBJ Green Building、BELS 等)または 100%再エネ導入物件のシェア(棟数ベース)
*7 2024 年度以降における主として以下を対象とする設備のリース(=GX Assessment Lease)契約実行高累計
・グリーンファイナンスの対象となり得る CO_2 排出削減効果が期待できる設備
・エネルギー環境適合製品
・ESG リース促進事業対象機器
*8 国内の再生可能エネルギー発電事業における出資案件の持分出力

■三菱HCキャピタルグループについて

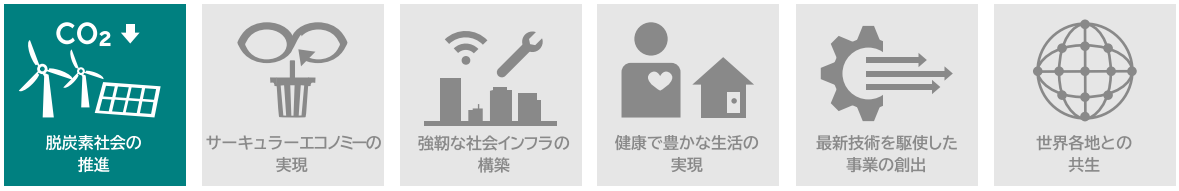
三菱HCキャピタルグループは、国内外で約 8,000 名の従業員を擁し、主に法人向けにさまざまな機器・設備・車両や航空機・海上コンテナ・鉄道貨車などを対象として、世界 20 カ国以上でリース・ファイナンス事業を展開、さらに、不動産再生事業や再生可能エネルギー事業などに事業領域を拡大しています。これらのビジネスを通じてお客さま・パートナーとともに新たな社会価値を創出することで、社会的課題の解決、ひいては持続可能で豊かな未来の実現に貢献していきます。

詳しくは、三菱HCキャピタルのウェブサイトをご覧ください。

https://www.mitsubishi-hc-capital.com/

■三菱HCキャピタルグループのマテリアリティ(重要課題)

三菱HCキャピタルグループは、持続的に成長するうえで優先的に取り組むべきテーマとして、6 つのマテリアリティ(重要課題)を特定しており、本件は「脱炭素社会の推進」に資する取り組みです。



マテリアリティ(重要課題)の詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

https://www.mitsubishi-hc-capital.com/sustainability/materiality.html

■本件に関するお問い合わせ先

三菱HCキャピタル株式会社
コーポレートコミュニケーション部
〒100-6525 東京都千代田区丸の内一丁目 5 番 1 号
TEL 03-6865-3002

以 上